



人財育成チーム『まなぶるNEWS』

41限目 2025年6月発行 発行責任者：渡部潔



今月の学習会報告 ～ 事務編～

5月28日に2024年度事務入職者振り返り報告会がありました。
2年目職員が、この1年間の振り返りとして学んだことや今後の抱負等を発表する場で、先輩職員や今年入職したばかりの1年目の職員が見に来ていました。

学び



その報告会の中で、3月に東京出張で行ってきた民医連事務集団「3つの役割」実践交流集会の報告をさせていただきました。
交流集会の中で印象的だったのは多職種型リレートークと実践交流です。『病院事務も立派な専門職であり、事務の視点で意見を言ってよい。その意見は聞いてもらえます。視点が違うから良いのです。』と医師や看護師が直接言葉で伝えてくださり、他職種の目線でのお話を聞けて貴重な機会でした。
今1、2年目の若手職員は、医師や看護師と関わりがある人もいれば、今後関わっていく人もいると思うので、この言葉が後に役立ってくれたらいいなと思いこの場でご紹介させていただきました。

抱負

初めて参加した会でしたが、全国で同じように頑張っている事務職員の仲間がいることを、交流を通して強く感じられ良い刺激になりました。
ここで得たものを日々の業務に生かしていければと思います。



まなmemo

してあげたことの方が、印象に残る

※出典：ゆうきゆう
『薬いらずの特効法
ストレスを解消する
50のコツ』2025年

相手にしてもらったこと



相手にしてあげたこと

★人にしてもらったことより、自分が人にしてあげたことの方が、約35倍も多く覚えている。

「してあげた」ことより、「してもらったこと」を心に留めることが大切



こんなにしてくれてのに！
何で何もしてくれないの？



いろいろと、やってくれている！
助かっているな！



★人にしてもらったことを心に留めることで、人への意識が変わる。すると「**好意の返報性**」が働き、「**好意を示したことで、相手も好意を返してくれる**」という好循環が生まれる。